

2010年ワールドカップ特別連載

在南ア日本大使館
領事がつづる

南アフリカ通信

Vol.18

文◎新保 剛



2010年のワールドカップ開幕まで、あと212日。
開催国の南アのことをよく知らない人も多いだろう。
現地在住の日本大使館領事から届くこのコラムで
生の南アフリカを見て、知って、本大会に備えよう!

●「少しずつ盛り上がり始めたサッカー熱」●



▲快進撃を見せたコンフェデレーションズカップ以降、少しずつサッカー人気が高まっている

のだ。
南アのサッカーリーグもプレミアリーグと呼ぶが、こちらは生中継が少ない。良くて後半からの放映だ。人気チームでなければ、録画で深夜の放映となるか、さもなければ放映されない。カメラワークもひと昔前と変わっていないため、選手がアップで映らない。背番号もはっきりと見えることは少ない。イングランドは観客があふればかりだが、南アはスタンドで閑古鳥が鳴いている。
それでも、私が南アに来た3年前に比べれば、サッカーはずっと大きく取り上げられるようになった。これは、98年頃の日本と同じだ。Jリーグが発足し、「ドーハの悲劇」のあと、日本のサッカーは若干低迷した。しかし、ワールドカップの日本開催が決まり、フランス大会に出場が決定してから盛り返した、あの頃だ。
南アのリーグに外国人選手も増えた。ヨーロッパや南米だけでなく、9月からは日本人選手も出場しているくらいだ。ある日本人カメラマンから聞いたことがある。Jリーグの観客動員数が地方で増えたのはワールドカップの影響だったと。好プレーにスタジアム全体がどよめく。その空気に浸ってしまつと、また行きたくなくなるのだという。きつと来年は、南アでもそういう人が増えると思う。

著者プロフィール ● 一等書記官兼領事。06年より在南ア共和国日本大使館に勤務。業務の1つに在留邦人と日本人旅行者の安全対策がある。2010年のワールドカップに向け、日本人旅行者に安全情報を発信する

外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp> 在南アフリカ日本国大使館 http://www.za.emb-japan.go.jp/index_jp.html